

科目名	整形外科学 1							年度	2026
英語科目名	Orthopedic Surgery 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高橋慎一	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医師（整形外科にて勤務）		

【科目の目的】

外傷学のうち保存療法を担当する柔道整復師にとって必要な整形外科学全般の基本的な知識を会得することを目的とする。

【科目の概要】

整形外科治療の基礎知識や代表的治療方法を学ぶ。

【到達目標】

柔道整復師として実際に施術を行う疾患について理解するのはもちろんのこと、医療の一翼を担う一員として、それ以外の代表的な運動器疾患についても理解し、柔道整復師が行う施術の境界を鑑別する能力を付けることが到達目標である。

【授業の注意点】

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	診断に用いる画像検査・血液検査について完全に理解している	診断に用いる画像検査・血液検査について大体理解している	診断に用いる画像検査・血液検査について部分的に理解している	診断に用いる画像検査・血液検査についての理解がやや不足している	診断に用いる画像検査・血液検査について理解していない
到達目標 B	先天性骨系統疾患・代謝性骨疾患について完全に理解している	先天性骨系統疾患・代謝性骨疾患について大体理解している	先天性骨系統疾患・代謝性骨疾患について部分的に理解している	先天性骨系統疾患・代謝性骨疾患についての理解がやや不足している	先天性骨系統疾患・代謝性骨疾患について理解していない
到達目標 C	感染性疾患、非感染性軟部・関節疾患について完全に理解している	感染性疾患、非感染性軟部・関節疾患について大体理解している	感染性疾患、非感染性軟部・関節疾患について部分的に理解している	感染性疾患、非感染性軟部・関節疾患についての理解がやや不足している	感染性疾患、非感染性軟部・関節疾患について理解していない
到達目標 D	骨端症について完全に理解している	骨端症について大体理解している	骨端症について部分的に理解している	骨端症についての理解がやや不足している	骨端症について理解していない
到達目標 E	神経・筋の系統疾患、四肢の循環障害について完全に理解している	神経・筋の系統疾患、四肢の循環障害について大体理解している	神経・筋の系統疾患、四肢の循環障害について部分的に理解している	神経・筋の系統疾患、四肢の循環障害についての理解がやや不足している	神経・筋の系統疾患、四肢の循環障害について理解していない

【教科書】

教科書は「整形外科学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		整形外科学 1			年度	2026
英語表記		Orthopedic Surgery 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	画像診断・血液検査	疾患の診断に用いる画像検査・血液検査について理解する	1 画像検査	代表的な画像検査の特徴を理解する	3	
			2 血液検査	代表的な検査項目について理解する		
2	先天性骨系統疾患	先天性骨系統疾患について理解する	1 先天性骨系統疾患	代表的な先天性骨系統疾患について理解する	3	
3	代謝性骨疾患	代謝性骨疾患について理解する	1 代謝性骨疾患	代表的な代謝性骨疾患について理解する。	3	
4	感染性疾患	感染性疾患について理解する	1 感染性疾患	代表的な感染性疾患について理解する	3	
5	非感染性軟部・関節疾患①	非感染性軟部・骨関節疾患について理解する	1 変形性関節症	変形性関節症について理解する	3	
6	非感染性軟部・関節疾患②	非感染性軟部・骨関節疾患について理解する	1 痛風（高尿酸血症）	痛風（高尿酸血症）について理解する	3	
			2 偽性痛風	偽性痛風について理解する		
			3 血友病性関節症	血友病性関節症について理解する		
7	非感染性軟部・関節疾患③	非感染性軟部・骨関節疾患について理解する	1 関節リウマチ	関節リウマチについて理解する	3	
			2 リウマチ類縁疾患	リウマチ類縁疾患について理解する		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り	1 前期1～7回の振り返り	前期1～7回の振り返り	3	
9	骨端症	骨端症について理解する	1 骨端症	代表的な骨端症について理解する	3	
10	神経・筋の系統疾患①	神経・筋の系統疾患について理解する	1 運動ニューロン障害	運動ニューロン障害について理解する	3	
			2 脳性麻痺	脳性麻痺について理解する		
			3 脊髄性小児麻痺	脊髄性小児麻痺について理解する		
11	神経・筋の系統疾患②	神経・筋の系統疾患について理解する	1 神経病性関節症	神経病性関節症をきたす疾患について理解する	3	
			2 筋萎縮性側索硬化症	筋萎縮性側索硬化症について理解する		
			3 進行性筋ジストロフィー	進行性筋ジストロフィーについて理解する		
12	神経・筋の系統疾患③	神経・筋の系統疾患について理解する	1 脊髄腫瘍	脊髄腫瘍について理解する	3	
			2 脊髄損傷	脊髄損傷について理解する		
			3 末梢神経損傷	末梢神経損傷について理解する		
13	神経・筋の系統疾患④	神経・筋の系統疾患について理解する	1 絞扼性神経障害	代表的な絞扼性神経障害について理解する	3	
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り	1 前期9～13回の振り返り	前期9～13回の振り返り	3	
15	四肢の循環障害	四肢の循環障害について理解する	1 四肢の循環障害	四肢の循環障害について理解する	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等